

# 扇精光グループ



九州・沖縄を担うトップ群像



濱口晴樹扇精光ソリューションズ社長(左)と池田久美子扇精光ホールディングス社長、安部清美扇精光コンサルタンツ社長

## 「社員の能力向上通して地域に貢献」

扇精光ホールディングスは、傘下の扇精光コンサルタンツと扇精光ソリューションズを両輪に、地域の発展に貢献し続けている。

道路や河川、橋梁などの設計や測量、調査解析、文化財調査などを手がける扇精光コンサルタンツは、官公庁発注の業務だけでなく民間大手との協業もあって、20年の業績は堅調に推移した。

強みは3Dレーザースキャナーを搭載したUAV（ドローン）

を活用して、迅速・正確な地理空間データを提供できることである。19年は大雨の影響で通行止めになった長崎自動車道の早期暫定復旧に大きく貢献。20年は7月豪雨の影響を受けた大分自動車道や球磨川流域の災害復旧活動にも力を発揮した。8月には国土交通省九州地方整備局から、九州北部豪雨で被災した福岡県朝倉市

の砂防工事事業に尽力したとして、国土交通行政功労九州地方整備局長表彰も受賞。被災地の復興への貢献が高く評価された。

そのほか旧長崎県庁跡地や新長

伴い、パソコンやシステムの導入に関する問い合わせが増加。新たな需要の開拓・取り込みにも乗り出している。今後はセキュリティーや労務管理に関するニーズが増加

するとみており、関連するサービスの拡充にも力を入れていく。さらに、クラウド化の進展に対応したサービスを充実させるため、各種ツールを適宜導入しながら社員のスキルアップ・知識の向上に努めている。

扇精光ホール

ディングスは「業績が堅調な時こそ気を引き締めなければならない。全員があと一步ステップアップするため努力を重ね、地域社会の発展に貢献していく」としている。



崎市庁舎建設予定地の埋蔵文化財発掘調査、熊本城の石垣など、各地の史跡、文化財の調査なども手がけている。

扇精光ソリューションズも業績は底堅かった。県内自治体向けのタブレット端末を受注したほか、福岡でも官公庁のニーズの取り込みに成功した。また、民間ではテレワークやリモートワークの普及に

### 【所在地】

長崎県長崎市田中町 585 番地5  
【TEL】 095-839-2111  
【FAX】 095-839-7766  
【URL】 <http://www.ougis.co.jp>